



水道スマートメーターを活用した水量計測に係る連携協定の締結 ～三者連携による水道自動検針の高度化～

2026年10月2日
大阪市水道局
京都市上下水道局
関西電力送配電株式会社

大阪市水道局、京都市上下水道局および関西電力送配電株式会社（以下、関西送配電）は、第2世代電力スマートメーター※¹通信ネットワークを活用した水道使用量の自動検針※²の実用化・高度化に向け、「水道スマートメーターを活用した水量計測に係る連携協定」（以下、本協定）を、本日締結しました。

これまで、大阪市水道局、京都市上下水道局は、それぞれ関西送配電の電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針の実用化・導入に向けた取組み※³を進めてきました。

今回、両市と関西送配電が個別に進めてきた取組みを三者連携へと発展させ、それぞれの取組みで得られた成果や知見、課題等を共有・活用することで、水道自動検針のさらなる高度化に向けた検討を進めるため、本協定を締結することとしたものです。

本協定に基づき、両市における実証結果や運用ノウハウ、課題等を共有するとともに、関西送配電が有する通信インフラや技術的知見を活用し、水道スマートメーターの運用や検針・保守業務の効率化に向けた検討を進めます。さらに、漏水検知や災害対応等へのデータ利活用についても検討してまいります。

こうした三者連携を通じて、将来的な水道自動検針の実用化・高度化に向けた課題を整理するとともに、他地域への展開や社会実装につなげ、水道事業の持続可能な運営に貢献してまいります。

※1：関西送配電「第2世代スマートメーターの設置開始について」を参照

https://www.kansai-td.co.jp/technology/pdf/oshirase_smartmeter_20260105.pdf

※2：電力スマートメーター通信ネットワークを活用して、水道、LPガス、都市ガスの各メーターの検針データの収集や遠隔制御、装置情報（アラーム等）等の収集を行うもの。

※3：大阪市水道局の取組み

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000621105.html>

京都市上下水道局の取組み

<https://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000350379.html>

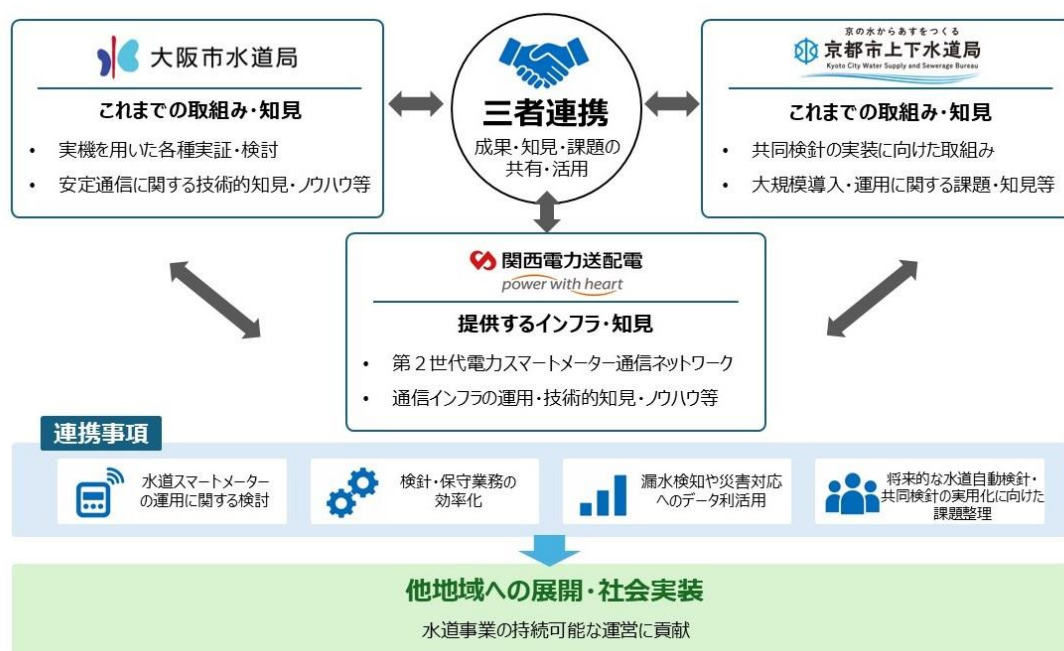
別紙：水道スマートメーターを活用した水量計測に係る連携協定の概要

水道スマートメーターを活用した水量計測に係る連携協定の概要

1. 協定の概要

目 的	大阪市水道局および京都市上下水道局は、それぞれ関西送配電と連携し、第2世代電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針の実用化・導入に向けた取組みを進めている。今回、両市で得られた成果や知見、課題等を三者で共有・活用し、水道自動検針のさらなる高度化を図るため、連携協定を締結する。
連携事項	・水道スマートメーターの運用に関すること ・水道の検針・保守業務の効率化に関すること ・実証結果、運用ノウハウ、課題等の共有・活用に関すること ・漏水検知や災害対応等へのデータ利活用に関すること ・その他、水道自動検針・共同検針の実用化・高度化に必要な事項

2. 三者連携のイメージ



大阪市水道局における取組みについて

大阪市水道局と関西送配電は、2024年2月に電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針に関する共同研究にかかる基本協定を締結し、水道自動検針の実用化に向けた4ヶ年の共同研究を進めています。

対象エリア	大阪市内
実施期間	2024年2月29日～2028年3月31日（約4年間）
実施概要	電力スマートメーターの通信ネットワークを活用し、水道スマートメーターの検針データを安定的に伝送できるかを検証する。
実施項目	①電力スマートメーター通信ネットワークを用いた水道スマートメーターの通信実証 ②スマートメーターのデータ利活用方法の検討 ③水道検針業務運営の検討 ④第2世代電力スマートメーターを用いた総合実証
これまでの成果・課題	通信実証等を通じ、水道自動検針における通信面・運用面の知見を蓄積。一方、実際の導入に向けた業務運用の整理が課題。
今後の予定	実証試験結果の評価および改善策の検討を継続していく。

京都市上下水道局における取組みについて

京都市上下水道局と関西送配電は、2026年2月に水道スマートメーターによる水道自動検針の実施に向けた基本協定を締結し、第2世代電力スマートメーターの通信ネットワークを活用した共同検針の先行導入に向けた取組みを進めています。

対象エリア	京都市の北部山間地域と、市街地の一部（脱炭素仕様の住宅街区） ・北部山間地域 約5,000戸 ・伏見工業高等学校跡地・元南部配水管理課用地 約600戸
実施期間	2026年4月1日～2029年3月31日（3年間）
実施概要	京都市内の一部地域において、各家庭に設置している電力スマートメーターの通信網を活用した、水道スマートメーターによる水道使用量の自動検針を先行導入する。
これまでの取組み	現地調査や運用に関する意見交換を通じ、共同検針の実装に向けた準備を推進している。
今後の予定	2027年3月頃から順次、山間地域等において共同検針を開始する。導入の実施結果を評価・検証のうえ、水道スマートメーター導入拡大を検討していく。

関西電力送配電における取組みについて

関西送配電は、第2世代電力スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針サービス（共同検針サービス）の事業化を決定し、サービス展開に向けた取組みを進めるとともに、順次サービスの提供を開始してまいります。

なお、現在サービスの大規模展開に必要なシステムの開発・改修を進めており、完了後の2027年度上期を目途に、提供規模を拡大していく予定です。

これまでの取組み	自治体との共同研究・実証を通して第2世代スマートメーター通信ネットワークを活用した水道自動検針について、通信品質や水道検針業務への実用性等を検証。
サービス概要	第2世代電力スマートメーター通信ネットワークを活用し、水道スマートメーターで計測した水道使用量のデータを収集・提供するサービス。

<電力スマートメーターの通信ネットワークを活用した共同検針（イメージ）>

<https://www.kansai-td.co.jp/corporate/profile/business/jmr/index.html>

